

2018年12月4日
公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構

東京 2020 に向けて新たに始動するレガシープロジェクト！ アンチ・ドーピング・ムーブメントの新たなロゴ・スローガン「FAIR PRIDE」と、 その第一弾プロジェクト、スポーツの未来を創るメッセージリレー 「i-PLAY TRUE トーチリレー」を開始

公益財団法人 日本アンチ・ドーピング機構(所在地:東京都北区、会長:鈴木秀典、以下 JADA)は、12月4日(火)に開催された「2018 アジア・オセアニア国際アンチ・ドーピング・セミナー(以下、国際アンチ・ドーピングセミナー)*1」にて、アンチ・ドーピング・ムーブメントの新しいロゴ・スローガンとして『FAIR PRIDE(フェア・プライド)』を発表し、その FAIR PRIDE のもとで展開する第一弾プロジェクトとして、『i-PLAY TRUE トーチリレー(アイ・プレイトゥールー トーチリレー)』をスタートしました。従来の「不正の摘発」といったアンチ・ドーピング活動のイメージを超えて、スポーツの土台である「フェアネス(公正さ・公平さ)」を守るという理念の発信、フェアな環境のなかでこそ生まれる「スポーツの真実・価値」のメッセージを世界中でリレーしていくプロジェクトにご期待ください。



「FAIR PRIDE」ロゴ・スローガンは、アンチ・ドーピングの理念をより共感しやすい言葉でスポーツ、社会へ発信し、アンチ・ドーピングを「ムーブメント」としていくために誕生しました。このロゴとスローガンには、スポーツに関わるすべての人が、スポーツを成り立たせる基本的な要件である「フェアネス」を誇りに思い、フェアでクリーンな環境で生まれるスポーツの価値・真実を共有、発展させていくことの想いが込められています。

【FAIR PRIDE】



勝利を超える価値がある

磨かれる前の原石のようなハートの形は、スポーツを成り立たせる「原点としてのフェアネス」を意味しています。藍色は JADA のコーポレートカラー、水色(フェア・ブルー)は、あらゆる人々の上に平等に広がる空の色であり、「フェアネス」を象徴しています。

その第一弾プロジェクトとしてスタートする「i-PLAY TRUE トーチリレー」は、「スポーツにおける真実」のメッセージをリレーするプロジェクトです。このプロジェクトは、2020 年に向け、スポーツの価値を高め、スポーツの未来を創ることを目指し、アスリートだけでなく、スポーツに関わる人や、スポーツを愛するすべての人が、様々な機会・方法で参加します。さらに、本プロジェクトは、2020 に向けた日本政府によるレガシー事業「スポーツを通じた国際貢献事業 / SPORT FOR TOMORROW*2」の一環として展開し、世界中の人々がスポーツの未来を創ることに参加できる機会を創出します。202,020 人分のメッセージを集めることを目標とし、集めたメッセージは 2020 年にアート作品など様々な形でつなぎ合わされ、発表・展示され、そしてレガシーの形として残していく予定です。

プロジェクト参加方法は、以下の 3 つです。

- 1) 国内外のイベント会場、スポーツ競技会場、学校などで、スポーツにおける「真実」のメッセージをポスターに記入



- 2) 心の中にある「真実」、スポーツの中にある「真実」を映し出す「フィルターポーズ」で写真を撮影し、SNS に投稿



- 3) 自身の取り組んでいるスポーツ種目や好きなアクションで実際にリレーをしている動画を SNS に投稿
※ハッシュタグ(#iplaytrue / #playtrue2020)



今回、国際アンチ・ドーピングセミナーでは、スポーツ庁鈴木大地長官より「i-PLAY TRUE トーチリレー」開始についてのメッセージが公開され、さらに JADA アスリート委員のメンバーである齋藤里香さん、室伏由佳さんと松田文志さんによってデモンストレーションが実施されました。

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会のホスト国として、JADA は、今後もスポーツの価値が未来に向けて育まれるための機会、プログラムを創出していきます。そして、FAIR PRIDE を通したアンチ・ドーピングの理念の発信と、スポーツ界を超えたアンチ・ドーピング・ムーブメントの世界的な推進を行っていきます。

鈴木大地スポーツ庁長官コメント

アスリートが強く求めるのは、クリーンでフェアなスポーツ環境です。そして、アスリートをはじめ、広くスポーツを愛する人々が、スポーツにおけるインテグリティの重要性を発信し、クリーンでフェアなスポーツの実現に携わっていくことが必要だと考えています。今回、スポーツ庁と JADA で協力して、2020 年東京大会に向けた新たなレガシーのプロジェクトとして「i-PLAY TRUE トーチリレー」を開始します。私はメッセージとして「インテグリティのチャンピオンに！(Be the Integrity Champion!)」を寄せました。メダルをたくさんとることも重要だが、インテグリティのチャンピオンになることがもっと大切だという思いを込めています。クリーンでフェアなスポーツを実現するためのアクションとして、多くの人にこのプロジェクトへ参加頂きたいと思います。

浅川伸 JADA 事務局長コメント

2020 年に向け、改めてアンチ・ドーピング活動のもつ意義を、スポーツ界を超えて、広くみんなのものにする必要があると感じ、新しいロゴ・スローガンの制作を行いました。FAIR PRIDE のスローガンの下、個々人や友達、学校、団体などをつなげる 1 つの「チーム」を作りたいと思います。そのために、一人一人が「フェア」の意味を自分ごととして感じられたり、周りの人と共有できる機会を作っていきます。「i-PLAY TRUE トーチリレー」は、まさに世界中から多くの人とスポーツの価値・真実を共有することができる参加型のプロジェクトです。スポーツの価値・真実を個人が考える機会とすると共に、年代や性別、国を超えてスポーツの価値・真実をリレーしていく楽しさを是非感じてほしいと思います。

*1 “アジア・オセアニア国際アンチ・ドーピングセミナー”:

「SPORT FOR TOMORROW (以下参照)」における国際アンチ・ドーピング強化支援事業の一環として開催。継続的に開催されている本セミナーは、最新のアンチ・ドーピングの情報を共有するとともに、アンチ・ドーピング担当スタッフの人材育成を通して、世界全体のアンチ・ドーピング体制のレベル向上を目的としています。10 年目(12 回目)を迎える今年は、アジア・オセアニア地域の約 30 カ国から 50 名以上のアンチ・ドーピングの担当者を招へいしました。

*2 “SPORT FOR TOMORROW”:

2014 年から東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会を開催する 2020 年までの 7 年間で開発途上国を始めとする 100 カ国・1000 万人以上を対象に、日本国政府が推進するスポーツを通じた国際貢献事業。世界のよりよい未来をめざし、スポーツの価値を伝え、オリンピック・パラリンピック・ムーブメントをあらゆる世代の人々に広げていく取り組みです。



<https://www.sport4tomorrow.jp/jp/about/>

また、SPORT FOR TOMORROW における国際アンチ・ドーピング強化支援事業を「PLAY TRUE 2020」と称し、スポーツの価値・精神を基盤とし、アスリートのロールモデル育成をはじめとした、スポーツのインテグリティを守る活動としてのアンチ・ドーピング活動を、国際競技連盟・国内競技連盟、海外アンチ・ドーピング機構と連携し、展開しています。

<http://playtrue2020-sp4t.jp/>

